

令和4年度(2022年度)監事監査計画書

1 監査の基本方針

国立大学法人茨城大学監事監査規則（平成16年4月1日制定）に基づき、本学が掲げる理念・目標を達成する観点から本学業務の適正かつ効率的な運営に資するため、監査室及び会計監査人と連携して監事監査を実施する。

2 監査事項及び重点項目

監事監査規則（第5条）に定める本学の運営及び業務全般について監査を実施する。

2-1 業務監査

(1)管理運営

- ・中期目標、中期計画等の推進状況
- ・管理運営における効率化の推進状況

(2)人事管理

- ・教職員の業績評価
- ・労働環境の整備（働き方改革への取組等）

(3)財務

- ・令和5年度(2023年度)予算編成
- ・財務健全化への取組(経営刷新計画の推進)

(4)情報管理・活用

- ・情報管理
- ・デジタル化への対応（体制強化等）

（個人情報保護、セキュリティ対策）

(5)施設・資産の管理・活用

- ・遊休資産の処分、有効活用
- ・施設の長寿命化計画への対応

(6)学生確保

- ・志願者確保対策等

(7)学生支援

- ・学修、就職、生活支援
- ・留学生の受入

(8)教育・研究支援

- ・外部資金獲得に向けた取組

(9)地域連携・地域貢献

- ・リカレント教育
- ・連携事業の取組

(10)危機管理

- ・危機管理への取組

(11)その他

- ・大学基金確保

2-2 重点項目（臨時監査）

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応

- ・感染拡大に伴う大学運営（教育、研究活動等）への影響と対応
- ・感染拡大対応を契機とした新たな取り組み

(2) 附属学校園

- ・附属学校園の在り方（中高一貫教育の広がりなどの影響を踏まえた改革の推進）

(3) 補助金等活用の成果

- ・大学改革推進等補助金を活用した取組の定着や、成果等

2-3 会計監査

(1) 令和4年度(2022年度)決算の状況

(2) 資産運用及び資産管理の状況

(3) 人件費、一般管理費の状況

3 監査の種別

定期監査と臨時監査（重点項目）とする。

4 監査の方法

(1) 定期監査は、役員会、経営協議会及び教育研究評議会等の重要な会議へ出席（陪席）、監査調書等の書面及び担当責任者への聞き取り等により実施する。

(2) 臨時監査は、担当部局と日程を調整のうえ、書面、担当責任者への聞き取り及び実地監査により実施する。

(3) 会計監査は、主として会計監査人の監査結果の相当性を判断することにより行う。

5 監査の実施期間

(1) 業務監査

- ・定期監査 令和4年6月から令和5年5月に実施
- ・臨時監査 必要に応じ適宜実施

(2) 会計監査

決算終了後の令和5年5月下旬に実施

6 監査報告の作成

令和5年6月までに監査報告書を作成する。

7 監査報告及び意見

- (1) 監査報告書は、学長に提出する。
- (2) 監査の結果に基づき必要があると認めるときは、学長に意見を提出する。

8 監事意見に対する取組状況の確認

監事監査のフォローとしてこれまでの監事意見に対する取組状況を確認する。

(別 表)

令和4年度(2022年度)監事監査計画表

1 業務監査

監査項目	実施時期
・ 管理運営	通年
・ 人事管理	通年
・ 財 務	1～3月
・ 情報管理・活用	通年
・ 施設資産の管理活用	通年
・ 学生確保	通年
・ 学生支援	通年
・ 教育・研究支援	通年
・ 地域連携・地域貢献	通年
・ 危機管理	通年
・ その他	通年

2 臨時監査（重点項目）

監査項目	実施時期
■新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応 ・感染拡大に伴う大学運営等への影響 ・感染拡大対応を契機とした新たな取り組み	9～3月
■附属学校園 ・今後の附属学校園の在り方	9～3月
■補助金等活用の成果 ・大学改革推進等補助金を活用した取組の効果等	9～3月

3 会計監査

監査項目	実施時期
・令和4年度(2022年度)決算の状況	5月
・資産運用及び資産管理の状況	5月
・人件費、一般管理費の状況	5月